

平成 28 年度被爆体験継承事業 企画展

原爆を伝える

一次世代につなぐヒロシマ・ナガサキの本一



期間：7月9日（土）～8月31日（水）

会場：広島市立中央図書館 2階 展示ホール

主催：広島市立中央図書館

協力：広島平和記念資料館、長崎原爆資料館、双葉社、山端祥吾氏

書名	著者	出版社等	出版年	貸出用
広島資料室(被爆文献資料)の紹介にかえて				
『広島原爆戦災誌』(全5巻)	広島市／編	広島市	1971年	○
『ヒロシマの被爆建造物は語る 被爆50周年』	被爆建造物調査研究会／編	広島平和記念資料館	1996年	○
『長崎原爆戦災誌 第1巻』(全5巻)	長崎市役所／編	長崎国際文化会館	1977年	×
『The Nagasaki Atomic Bomb Damage Records』(長崎原爆戦災誌 総説編1 英語版)	長崎原爆資料館／編	長崎市	2016年	○
『紫雲 第2号』	広島県広島国泰寺高等学校 校友会文芸部／〔編〕	広島県広島国泰寺高 等学校校友会文芸部	1949年	×
『ゆうかりの友』	広島県立一中被爆生徒の会 ／編	広島県立一中被爆生 徒の会	1974年	○
『ヒロシマの少年少女たち』	関 千枝子／著	彩流社	2015年	○
『オバマ広島演説』	オバマ／〔述〕、『CNN English Express』編集部／編	朝日出版社	2016年	×
「中国新聞 2016年5月28日 オバマ米大 統領広島訪問」	中国新聞社／編	中国新聞社	2016年	×
『『平和集会』にてDVD』	広島市教育委員会・広島市立図 書館／制作、栗原 貞子／講演	広島市教育委員会・広 島市立図書館	2008年	○
「被爆樹マップ 東の散歩道コース 〔1〕」	「緑」の伝言プロジェクト／〔編〕	「緑」の伝言プロジェクト	〔2015年〕	○
「米軍機より撮影したきのこ雲」	米軍／撮影	広島平和記念資料館 ／提供		写真
「きのこ雲」	米軍／撮影	長崎原爆資料館／所蔵		写真

被爆70周年を機に出版された本

『原爆死没者慰霊式典の記録 被爆70 周年記念事業』	広島市／編	広島市	2016年	○
『絵本童心寺』	木下 数子／絵・文、童心寺を次 世代に語りつぐ会／編	広島市五日市公民館、広 島市皆賀公民館	2016年	○
『第二楽章』	吉永 小百合／編、男鹿 和雄 ／画、アーサー・ビナード／〔ほ か〕英訳、スタジオジブリ／編集	スタジオジブリ	2015年	○
『ヒロシマ8月6日、少年の見た空』	井上 こみち／文、すがわら け いこ／絵	学研教育出版	2015年	○
『ヒロシマ・音の記憶』	「ヒロシマと音楽」委員会／編	「ヒロシマと音楽」委員会	2015年	○
『しまってはいけない記憶 被爆体験記集 1』	国立広島原爆死没者追悼平 和祈念館／編	国立広島原爆死没者 追悼平和祈念館	2015年	○
『まんがで語りつぐ広島の復興』	手塚プロダクション／まんが、青 木 健生／シナリオ	小学館クリエイティブ	2015年	○
『ヒロシマ日記』	蜂谷 道彦／著	法政大学出版局	2015年	○
『原爆供養塔』	堀川 恵子／著	文藝春秋	2015年	○
『証 被爆70周年慰霊の記』	広島市立高等女学校・広島市立 舟入高等学校同窓会／〔編〕	広島市立高等女学校・広 島市立舟入高等学校同窓 会	2015年	○
『平和と安全保障を考える事典』	広島市立大学広島平和研究所 ／編	法律文化社	2016年	○

書名	著者	出版社等	出版年	貸出用
『夏の花 紙芝居』	原 民喜／原作、竹原 陽子／制作	のびる文庫	2015年	○

手記で伝える

『花の命は短かくて』	小島 順／編	日本ブックエース	2010年	○
『死の同心円』	秋月 辰一郎／著	長崎文献社	2010年	○
『原爆の子 上』	長田 新／編	岩波書店	2010年	○
『『原爆の子』その後』(改訂版)	原爆の子きょう竹会／編	本の泉社	2013年	○
『空が、赤く、焼けて』	奥田 貞子／著	小学館	2015年	○
『いしぶみ』	広島テレビ放送／編	ポプラ社	2015年	○
『木の葉のように焼かれて 被爆体験集 第49集』	新日本婦人の会広島県本部／〔編〕、「木の葉のように焼かれて」編集委員会／編	新日本婦人の会広島県本部	2015年	○
『被爆70年次世代に語り継ぐ被爆体験記』		岡山県原爆被爆者会	2015年	○

昭和25年(1950年)までに発行された原爆を伝える本

『黒い卵』	栗原 貞子／著	中国文化発行所	1946年	×
『屍の街』	大田 洋子／著	中央公論社	1948年	×
『絶後の記録』	小倉 豊文／著	中央社	1948年	×
『夏の花』	原 民喜／著	能楽書林	1949年	×
『雅子斃れず 長崎原子爆弾記』〔改訂版〕	石田 雅子／著	表現社	1949年	×
『長崎の鐘』	永井 隆／著	日比谷出版社	1949年	×
『原爆体験記』	広島市民生局／〔編〕	広島平和協会	1950年	×
『黒い卵』(「黒い卵」(中国文化発行所1946年刊)の完全版)	栗原 貞子／著	人文書院	1983年	○
『原爆 表現と検閲 日本人はどう対応したか』	堀場 清子／著	朝日新聞社	1995年	○

文学で伝える(広島)

『原爆詩集』	峠 三吉／著	われらの詩の会	1951年	×
『川よとわに美しく 詩集』	米田 栄作／著	第二書房	1952年	×
『平和詩集 被爆20周年記念』〔第1集〕	広島詩人会議／編	広島詩人会議グループ	1965年	○
『死の影』	中山 士朗／著	南北社	1968年	○
小田勝造「人間の灰」 『＜八月六日＞を描く 第2集』	中山 士朗／〔ほか〕著	文化評論出版社	1971年	○

書名	著者	出版社等	出版年	貸出用
『行李の中から出てきた原爆の詩』	広島文学資料保全の会／編	暮らしの手帖社	1990年	○
『私の広島地図』	中山 士朗／著	西田書店	1998年	○
『五十鈴川の鴨』	竹西 寛子／著	幻戯書房	2011年	○
『堀場清子全詩集』	堀場 清子／著	ドメス出版	2013年	○

文学で伝える(長崎)

『祭りの場』	林 京子／著	講談社	1975年	○
『長崎・詩と詩人たち 反原爆表現の系譜』	山田 かん／著	汐文社	1984年	○
『原子野に生きる 福田須磨子集』	福田 須磨子／著、長崎の証言の会／編	汐文社	1989年	○
『日本の原爆記録 20』	家永 三郎／〔ほか〕編	日本図書センター	1991年	○
『長い時間をかけた人間の経験』	林 京子／著	講談社	2000年	○
『山田かん全詩集』	山田 かん／著、山田 和子／〔ほか〕編集委員	コールサック社	2011年	○
『コレクション戦争と文学 19 ヒロシマ・ナガサキ』	浅田 次郎ほか／編集委員	集英社	2011年	○
『原爆句抄 魂からしみ出る涙』	松尾 あつゆき／著、平田 周／編	書肆侃侃房	2015年	○

被爆体験を持たない作家による作品

『祈祷』	有吉 佐和子／著	講談社	1957年	×
『ヒロシマ・ノート』	大江 健三郎／著	岩波書店	1965年	○
『父と暮せば』	井上 ひさし／著	新潮社	1998年	○
『ヒロシマ』(増補版)	ジョン・ハーシー／著、石川 欣一／訳、谷本 清／訳、明田川 融／訳	法政大学出版局	2014年	○
『小説母と暮せば』	山田 洋次／著、井上 麻矢／著	集英社	2015年	○

絵で伝える

「無題」	岩永 司朗	長崎原爆資料館／所蔵	絵
「無題」	淵上 慎太郎	長崎原爆資料館／所蔵	絵
「無題」	川口 和男	長崎原爆資料館／所蔵	絵
「無題」	梁瀬 恵利子	長崎原爆資料館／所蔵	絵
「探している娘に与えるために用意したむすびとお茶を悲しい思いで食べる」	村上 美佐子	広島平和記念資料館／所蔵	絵
「上半身防火用水槽につっこんだまま死んでいる中学生」	瀬島 唯男	広島平和記念資料館／所蔵	絵

書名	著者	出版社等	出版年	貸出用
「黒い雨の中を逃げる人」	吉本 智	広島平和記念資料館／所蔵		絵
「被爆であまりにも熱いため川に飛び込んだのだろうか。川一面にすき間なく死体が浮いていた。」	中田 政彦	広島平和記念資料館／所蔵		絵
『原爆の図』	丸木 位里／著、丸木 俊／著	田園書房	1967年	○
『原爆画家福井芳郎追悼展』	〔福井 芳郎／画〕、中国新聞社／〔編〕	中国新聞社	1975年	×
『ピカドン』	丸木 位里／著、丸木 俊／著	東邦出版	1982年	○
『ヒロシマナガサキ原爆写真・絵画集成 6』	家永 三郎／〔ほか〕編	日本図書センター	1993年	○
『長崎原爆絵巻崎陽のあらし』	深水 経孝／作、人吉高校英語研究会／編	草の根出版会	2003年	○

写真で伝える

「浦上天主堂」	林 重男／撮影	長崎原爆資料館／所蔵		写真
「父から息子へ尋ね先を知らせる伝言板」	林 重男／撮影	長崎原爆資料館／所蔵		写真
「広島県商工経済会望楼から」	林 重男／撮影	広島平和記念資料館／提供		写真
「泣く元気もない乳飲み子、医師を探す父親」	山端 庸介／撮影	山端 祥吾氏／提供		写真
「幼児を背負い、ぼうぜんとたたずむ女性」	山端 庸介／撮影	山端 祥吾氏／提供		写真
「広島第二陸軍病院太田川畔テント救護所」	川原 四儀／撮影	広島平和記念資料館／提供		写真
「広島第二陸軍病院太田川畔テント救護所」	川原 四儀／撮影	広島平和記念資料館／提供		写真
「きのこ雲」	木村 権一／撮影	広島平和記念資料館／提供		写真
「炎上中の広島市街」	木村 権一／撮影	広島平和記念資料館／提供		写真
『ヒロシマ 1945～1979』	土田 ヒロミ／著	朝日ソノラマ	1979年	○
『土門拳全集 10』	土門 拳／著、第一アートセンター／編	小学館	1985年	○
『母と子でみる原爆を撮った男たち』	反核・写真運動／編	草の根出版会	1987年	○
『Fromひろしま』	石内 都／著	求龍堂	2014年	○
『広島原爆写真集 決定版』	反核・写真運動／監修、小松 健一／編、新藤 健一／編	勉誠出版	2015年	○
『長崎原爆写真集 決定版』	反核・写真運動／監修、小松 健一／編、新藤 健一／編	勉誠出版	2015年	○
『8月6日の朝』	浦田 進／著	青弓社	2015年	○

漫画・絵本で伝える

「夕風の街桜の国」		双葉社／提供		複製原画
「はだしのゲン」		©中沢啓治		複製原画

書名	著者	出版社等	出版年	貸出用
『おこりじぞう 絵本』	山口 勇子／原作、沼田 曜一／語り、四國 五郎／絵	金の星社	1979年	○
『つるにのって』(アニメ版)	ミホ・シボ／原案	金の星社	1994年	○
『絵で読む広島原爆』	那須 正幹／文、西村 繁男／絵	福音館書店	1995年	○
『原爆の火』	岩崎 京子／文、毛利 まさみち／絵	新日本出版社	2000年	○
『夕風の街桜の国』	こうの 史代／著	双葉社	2004年	○
『マンガで読むナガサキ』	マルモトイヅミ／著、Nia Memo ro／編	タイピントギャラリー	2011年	○
『原爆といのち』	手塚 治虫／〔ほか〕著	金の星社	2013年	○
『被爆マリアの祈り』	西岡 由香／著	長崎文献社	2015年	○
『はだしのゲン 第1巻』(全10巻)	中沢 啓治／著	汐文社	1975年	○
『맨발의 겐(ハングル版) 1』(はだしのゲンのハングル語訳)	金 松伊／翻訳	Arumdri Media	2000年	○
『はだしのゲン(アラビア語版)』		Sanabil	2015年	○
『BAREFOOT GEN A CARTOON STORY OF HIROSHIMA 1』(はだしのゲンの英語版)	Project Gen／訳	LAST GASP	2004年	○
『BOSONOGI GEN』(「はだしのゲン 第1巻」のクロアチア語訳)	Tamara Jambrišak Lopa c／翻訳	FIBRA	2013年	×
『BARFUSS DURCH HIROSHIMA』(「はだしのゲン 第1巻」のドイツ語版)		Carlsen Verlag GmbH	2004年	○

音楽で伝える

『ヒロシマからー』	広島合唱団／編	広島合唱団	1979年	×
『反核・日本の音楽』	芝田 進午／〔ほか〕編	汐文社	1982年	○
「アオギリのうた CD」	広島市市民局／企画・制作	広島市市民局	2002年	×
『「広島の歌」入選作品集』	広島市市民生活文化部／〔編〕、安野 光雅／表紙イラスト、佐伯 優／編曲	広島市市民生活文化部	2003年	○
『売れない歌手でよかった』	梅原 司平／著	講談社	2008年	○
『ヒロキョウの教科書』	広島交響楽協会／〔編〕	広島交響楽協会	2013年	○
『「ヒロシマ」が鳴り響くとき』	能登原 由美／著	春秋社	2015年	○
『ひろしまみんなのうた 楽曲集』(改訂版)	広島市小学校音楽教育研究会／編	全音楽譜出版社	出版年不明	×

記憶を受け継ぐ

『綾瀬はるか「戦争」を聞く』	TBSテレビ『NEWS23』取材班／編	岩波書店	2013年	○
『No Nukes』	メッセージ&フォトブック『No Nukesヒロシマ ナガサキ フクシマ』編集部／編集	講談社	2015年	○

書名	著者	出版社等	出版年	貸出用
『『原爆の子』をうけついで』	『原爆の子』をうけつぐ会／編	本の泉社	2012年	○
『被爆者 続』	会田 法行／写真・文	ポプラ社	2015年	○
『アメリカ人が伝えるヒロシマ』	スティーブン・リーパー／著	岩波書店	2016年	○

※ 貸出用の項目に○印のあるものは、広島市立図書館に所蔵 があるものです。中央図書館以外の所蔵の場合もあります。

※ 貸出用の項目に×印がある本でも、復刻版や全集などで同じ作品を読むことができる場合があります。検索用端末や、窓口でご確認ください。